

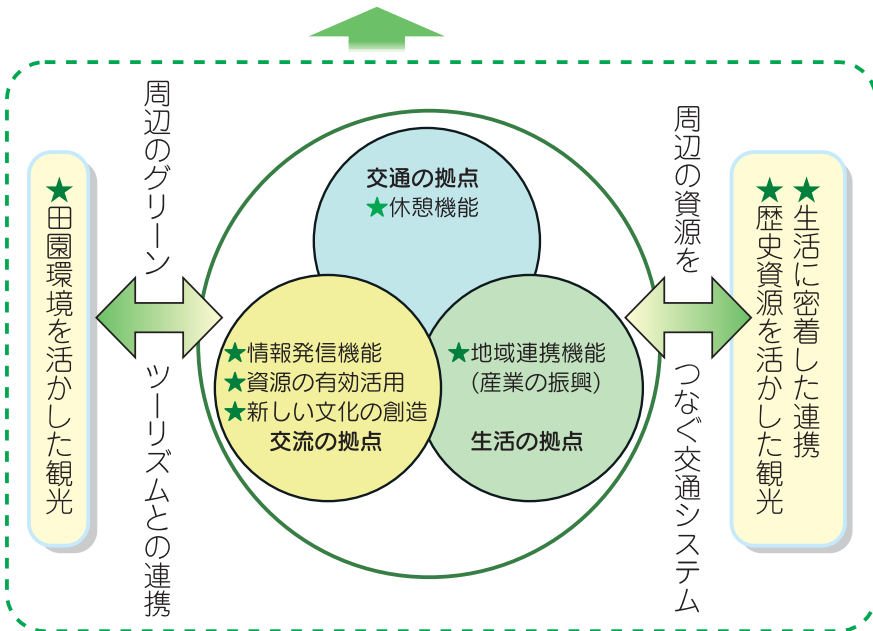
下野市では、道路整備を着々と進めています。通過する人や物の活用が十分でないと考えています。そこで、通過している「人とモノ」を下野市に取り込み、「産業の振興」「シティセールス」「地域間交流」「防災」等を図ることを目的として、「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」を併せ持つ複合多機能型の「道の駅」を整備することとしました。また、この「道の駅」整備は、市民の一体感の醸成や新市の融合を図る機会の一つにもなると考えています。なお、「道の駅」整備計画は、建設協議会及び建設計画策定委員会による熱心な協議やパブリックコメントの実施を経ていきます。今後は、平成23年度のオープンに向けて、市民の協力を得ながら、第三セクターの立ち上げや商品開発等の検討を進めていきます。

コンセプト



「(仮称)道の駅しもつけ」～下野市の良さを伝えるふれあいの場づくり～

- 下野市の良さを伝える場
- 道路利用者だけでなく、市民にも愛され、両者がふれあう場
- 目的地となる魅力的な場

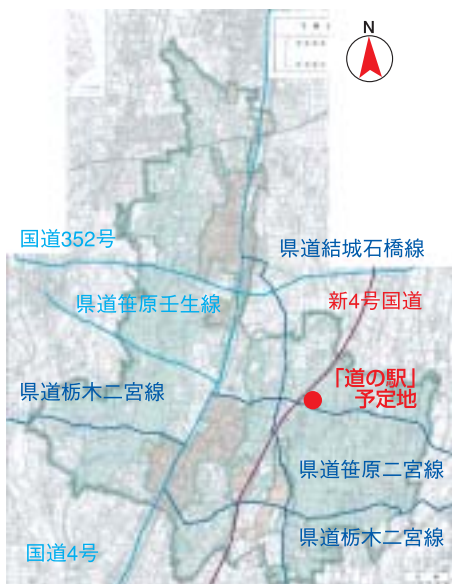


「道の駅」の整備効果

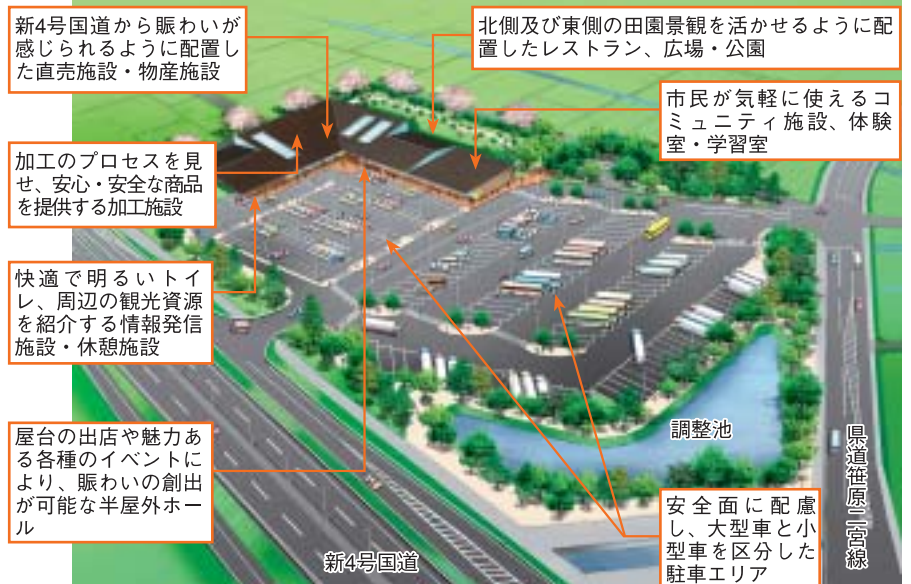
- **産業振興効果**
 - ・ 周辺観光資源、地元商店、農業等の相乗的活性化
 - ・ 産業の視点から見た地域間競争力の強化
 - ・ 雇用創出効果
 - ・ 地元産業の収益性向上
 - ・ 周辺観光資源等の収益性向上
- **シティセールス効果**
 - ・ 全国的な知名度の向上
- **その他の効果**
 - ・ 地域住民の新たな生きがいの創出
 - ・ 防災拠点として活用
 - ・ 地域の一体性の醸成
 - ・ 地元自治体の税収増

整備内容

上記のようなコンセプトを実現するために、以下のような施設を導入します。また、施設整備にあたっては、道路管理者（国土交通省）と地元が協力して共同で整備する「一体型」を目指しています。なお、管理・運営は新たに設立する第三セクターに委託することとしています。



★「道の駅」位置図



★「(仮称)道の駅しもつけ」整備イメージ図